



2020年10月22日

各 位

会 社 名 クオールホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 中 村 敬
 (コード番号 3034 東証第一部)
 問い合わせ先 取締役 富 樫 豊
 T E L 03-6430-9060

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年5月29日に公表いたしました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の第2四半期累計期間の連結業績予想について下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2021年3月期第2四半期累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	77,500	800	800	200	5.27
今回修正予想(B)	79,090	2,080	2,109	630	16.75
増減額(B-A)	1,590	1,280	1,309	430	—
増減率(%)	2.1	160.0	163.6	215.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績(2020年3月期第2四半期)	81,249	3,432	3,616	1,830	47.90

2. 連結業績予想修正の理由

2020年5月29日に公表いたしました2021年3月期第2四半期の業績予想について、当社は新型コロナウイルス感染症拡大による影響は9月まで継続し、10月以降回復すると想定しておりました。

現状といたしましては、売上高は、保険薬局事業において、従来の水準に戻るに至っていないものの、7月以降外来診療の受診控えの回復が見られ当初計画を上回りました。医療関連事業は計画通りに進捗したことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は期初予想を上回る見込みとなりました。

利益については、保険薬局事業において、コスト適正化プロジェクトが一定の成果を上げたことに加え、医療関連事業では、専門領域MRの戦略的な配置等が進みCSO事業が好調に推移したことから、期初の予想を大幅に上回る見込みとなりました。

なお、2021年3月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が不透明であることから、現時点での業績予想の変更はありません。今後の業績動向を踏まえ、修正が必要と判断される場合には、速やかに開示いたします。

当社は、新型コロナウイルス感染症拡大のなか、社会になくってはならない医療提供施設として全国で切れ目のない医療サービスを通じてすべての人に健康と福祉を提供するため、事業環境の変化に応じて体制の見直しや、経営資源の再配分を適宜行っております。

グループスローガン「あなたの、いちばん近くにある安心」のもと、すべての人のクオリティ・オブ・ライフの向上に今後も引き続き取り組んでまいります。

※上記の見通しにつきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により見通し値と異なる場合があります。

以 上